



2019年12月21日 ~ 2020年1月3日

2020年1月7日

先々週～先週の回顧

年未年始のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに下落しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

2019年末は前週までの悪材料（対米関係の悪化懸念、ダウトオール元首相の新党設立、トルコ当局による為替取引制限の強化報道など）を背景に、トルコ・リラは対米ドル・対円ともに下落しました。2020年初は米国がイラン革命防衛隊司令官とイラクのイスラム教シーア派組織の指導者を空爆により殺害し、中東情勢が緊迫化したことから、トルコ・リラの下落は続きました。

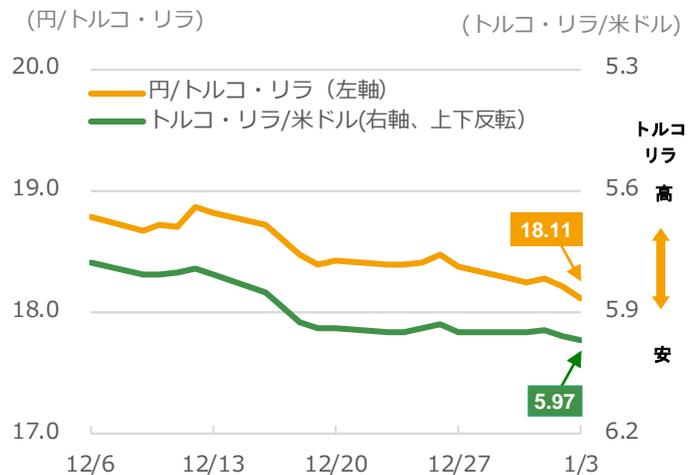
今週の見通し

今週は、トルコ国内では注目度の高い経済指標の発表は予定されていません。

年明けのトルコ市場は中東情勢の緊迫化を受けてリスク回避的な姿勢の影響を受ける一方で、市場の注目が中東情勢に集まったことから、トルコ独自の悪材料への注目度は低下したと考えられます。ただし、米軍が空爆を行ったのがトルコに隣接するイラクの首都バグダッドであったことから、中東情勢を巡る先行き不透明感がトルコ・リラの上値を抑える要因になりそうです。

トルコ・リラ 為替推移

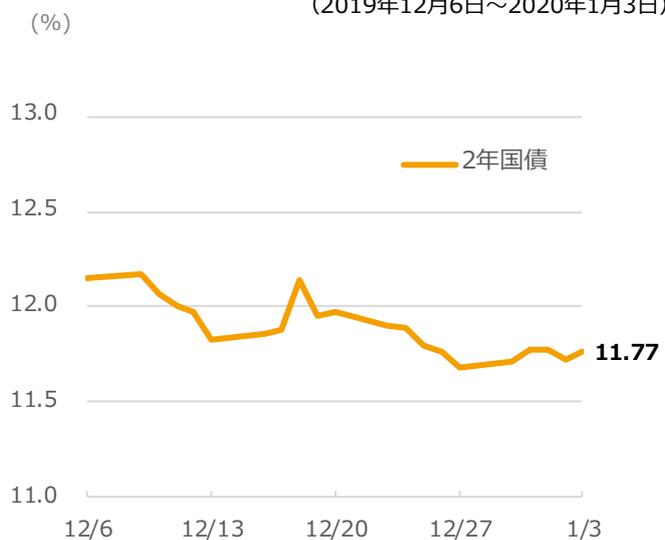
(2019年12月6日～2020年1月3日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

トルコ 金利推移

(2019年12月6日～2020年1月3日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。